



# 土沢保育園 園だより

令和元年11月



園庭の木の葉が舞い落ち、秋が深まってまいりました。朝夕は肌寒い日も増えてきましたが、元気に走り回り遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じます。お天気のいい日にはお散歩に出かけ、どんぐり拾いをしたり虫を探したり元気いっぱい秋を満喫しています。

先日の親子遠足では沢山のご参加を頂きありがとうございました。お陰様で楽しい遠足になりました。これから子ども達は、おたのしみ会に向けて少しずつ練習に取り組み始めます。どうぞご家族皆様でご参観頂き、子どもたちに温かいご声援をお願い致します。



## 秋の全国火災予防運動



秋の全国火災予防運動が11月9日から始まります。保育園では10月24日に総合避難訓練を行い、消火訓練、緊急車両の見学を行いました。今年の火災予防標語は「ひとつずついいね！で確認火の用心」です。毎年子どもの火遊びによる火災が全国で起きています。火遊びによる火災の半分はライターによるものだそうです。お家でもよくお話して気を付けましょう。

### ◎ 子供のライターの火遊びによる火災を防ぐポイント

- ・ 子供の手が届くところにライターを置かない。
- ・ 子供は大人の行う行動（火を付ける等）に興味を持つことを忘れない。
- ・ 子供がライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせる。
- ・ 子供に火災の恐ろしさを教え、火遊びをしないように防火教育を行う。
- ・ 子供が簡単に操作できない幼児対策を施したライターを使用する。
- ・ 不要なライターは処分する。

## 新入園児の紹介

多田 麻里子(まりこ)ちゃん

たんぼぼ組

よろしくおねがいします



## 焼き芋会

11月前半に焼き芋会を行います。  
先月収穫したさつまいもを園庭で  
焼いて美味しくいただきます。



## 11月の行事



1日	金	交通安全指導
3日	日	文化の日
4日	月	振替休日
5日	火	お茶会(ゆり・すみれ)
12日	火	職員会議
13日	水	保幼小交流会(ゆり組)
14日	木	お誕生会
19日	火	保育士会議
21日	木	給食検討会議
23日	土	勤労感謝の日
28日	木	総練習・お弁当の日
30日	土	おたのしみ会

## 11月生まれの おともだち

お誕生日おめでとうございます！

米 谷 早 智ちゃん (ちゅうりっぷ)  
 菊 池 結くん (ちゅうりっぷ)  
 和 田 創慈朗くん (すずらん)  
 佐 藤 萌 羽ちゃん (すみれ)  
 菅 野 楓 佳ちゃん (ゆり)

※12月の誕生会は12月18日(水)に行います。

## お茶会

11月5日に町内のお茶会クラブの皆様にご協力を頂き、ゆり組、すみれ組の子どもたちがお茶会に参加します。お寺の広間を使い入室の作法やお茶の点て方を教えて頂きます。日本の文化を感じてほしいと思います。

## 町内保幼小交流会

園生活から小学校生活への適応が滑らかになることを目的とした、保幼小交流活動が11月13日（水）に行われます。東和小学校の体育館に町内の幼稚園と保育園の年長児が集まり、先輩一年生と楽しくゲームをして親睦を深めます。年明けにはグループにわかれて校内の探索をして、小学校の雰囲気になれるための交流会も行われます。たくさんのお友達と仲良くなってきてほしいです。



## 親子遠足収支報告



期日：令和元年10月4日（金） 場所：秋田ふるさと村

### 収入の部

### 支出の部

項目	金額	内訳
会費	153,000	大人 85名×@1,800
	31,800	園児 53名×@600 (3歳以上児クラス)
繰入金	90,000	保護者会から補助
〃	76,990	保育園から補助
合計	351,790	

項目	金額	内訳
バス代	348,240	大型 3台×@82,500 中型 1台×@57,200 高速料金 43,540
振込手数料	550	
運転手謝礼	3,000	
合計	351,790	

令和元年度「親子遠足」の収支決算について上記のとおり御報告致します。たくさんの御参加と御協力に心より感謝申し上げます。

令和元年11月1日 園長 諏訪 心一



## 勤労感謝の日



道元禅師は「働く」ことを大切な修行であると示されました。修行道場で食事を作る係の「典座（てんぞ）」に示された『典座教訓』には次の言葉があります。「（食事を通じて）他人の修行を助ける役割を担うことは、自分のために修行するよりもはるかに尊い修行となるのだ。そのことに気づかずにただ漫然と、あるいは嫌々仕事に当たるならば、無駄につらい思いをするだけで結局何も得ることが出来ない。それは宝の山に入って手ぶらで帰ってくるようなものだ」ここで重要なことは「働くことこそが、自己を磨く修行になるのだ」と自覚することです。その自覚で「働く」ことは、他者への利益を実現することとなり、さらに自分の喜びとなって返ってくるでしょう。それらは同時に「自分は何のために働くのか」という問いへの、明確な答えでもあります。勤労感謝の日にちなんで、自分が「働く」ことの意味を、もう一度自分自身に問い直してみたいと思います。